

たんぽぽ



H.4.1.1

NO.55

—発行—

〒869-12

熊本県菊池郡

大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

TEL096

293-8100

学校5日制

理事長 田中 稔

最近、新聞紙上でいくつかの学校5日制への投稿記事を見る機会がありました。十一月二十六日付米谷ふみ子さんが「共働きや障害児を持つ家庭の事」と副題をつけて書いておられました。米谷さんについては以前この「たんぽぽ」で紹介した事があります。大阪生まれで大学卒業後アメリカへ渡られ、そこでユダヤ人と結婚し息子さんが自閉症児という方です。療育という事は文化です。文化の違い者同志が違う国で自閉症児を育てるのは大変な事です。このお子さん「ノア」の事をご主人が日記形式で記された本が「ノア三部作」です。米谷さん自身も文化の違いをテーマに「超越しの祭」で芥川

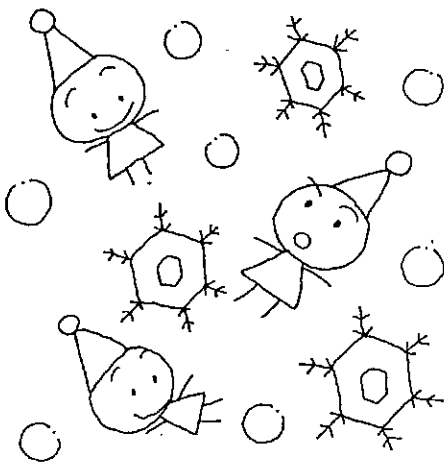
賞をもらっておられます。

アメリカでも自閉症児を持った多くの家庭が、学校5日制の中や2ヶ月に及ぶ長い夏休みの為に崩壊している状況を記事にしておられます。他の記事も社会制度の不備を指摘しています。健常児にとっても家庭や社会が子育てに果たす役割が増えます。核家族化が進み、共働きが増え、育児の経験の乏しい親が目標を見いだせず、受験という目標にすり替えた金頼みの子育てをやりかねません。

社会への適応に重い障害のある自閉症児者の場合は、今以上に母親の負担が増えます。三気の里に入園されている家庭の中には、休みになると朝から晩まで車に乗せて過ごしたという方がおられます。車の中だけが自分達家族だけの世

界が作れるからです。

自閉症という障害は自らの意志で事を考え、推理し実行していくのが出来にくい障害です。障害が良くなったかどうかを判断する一つの目安は「自分が一人になった時、自由な時間を持った時にどういう過ごし方が出来ているか」です。自由な時間は、自閉症児者にとって本当に《苦手》な事なのです。今後5日制になるのであれば学校、福祉施設の解放、ボランティアの育成等が併せて必要かと思われれます。



療育シリーズ

常同行動3

園長 土井尚典

Mくんの常同行動の最終型は、片方の手であご骨の上の皮をつまみもう一方の手の人差し指と中指で鼻の穴を栓し奥歯に力を入れて唸り声を出します。誠に奇妙な恰好です。これを夜中にやられますと声が良く通るのでとても眠れるものでありません。彼がこの行動をするのに一番好きな場所はトイレの中です。トイレの鍵を掛けて1時間以上も出て来ません。上から覗くとパンツを下げて、あごの皮を引っ張り鼻の穴に指を突っ込み奥歯に力を入れて額に青筋がたっている様は、とても年頃の青年がする恰好ではありません。バス停などでトイレに入られますとバスは何台も行ってしまうです。保護者の方は「泣きたくなります。」とおっしゃられました。

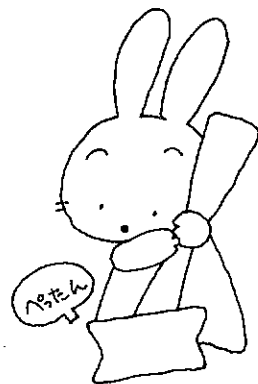
のきっかけは、手の親指と人差し指の間の皮をつまみ始めることから始まります。次第にあごに力を入れ声だしを始めます。仕舞には座り込んで延々と続く常同行動になる訳です。しかし、生理現象には勝てませんので、トイレに行き大小便を問わず用便が終わっても座り込んで鍵を締めて常同行動を楽しむ？訳です。最初の段階で気が付かないと完全に止めることは大変な努力が要ります。振出しに戻す事は至難の技です。親指と人差し指の間の皮をつまみ出したときはもう完全に常同行動のパターンに入っています。

この常同行動を止めるのにどうしたら良いかと彼の性格を考えました。「静かにしなさい」はなんの役にもたちません。「静かにしている」という意味の約束をしますが叱ったり注意をすると「お約束」と言いながらも常同行動は止まりません。一方常同行動になつてしまう最初のきっかけを作らな

いことは不可能に近いことです。そこで彼が自分で決心したことには自分に不都合でも守るという性格に着目しました。例えば今度の週末は帰らないと決めるとたとえ家族が迎えに来て帰らないという事です。3班の1泊旅行で又となないチャンスが訪れました。夜中に常同行動で唸り声を出し始めました。彼は暗いところが嫌いです。「騒ぐなら向こうで寝なさい」と隣の部屋に電気を消して追い出しました。「騒がない。約束する」など考えつくことをたくさん私に言いました。約束は全部拒否しました。私は「騒いだから、ここにいなさい」と譲りませんでした。彼はとうとう決心しました。「騒いだらここに来る！」と叫びました。「やった！」です。その後ありません。ただし、今の所です。



餅つき大会



橋本加代子

12月14日、5回目の餅つき大会を保護者の方をはじめ、いつもお世話になっていらっしゃる方々をお招きし、運動場にて行いました。

当日は、昨日までの寒波をはねのけるように好転に恵まれ、暖かい一日となり、お父さんと一緒にみんなの餅をつく音が、ペッタンペッタンと三気の里に響きわたりました。つきあがったお餅は、お母さんの手、みんなの手で丸められ、きなこ・あんこ・みたらし・大根下ろしと、思い思いの具がのってみんなの口の中へと入っていききました。どの顔も嬉しそうで、中には、もう食べれないぞうというくらいに食べた人もいましたが、

最後に出た厨房さん特製の粕汁を食べ満足そうにしていました。

最後に、参加して下さいご父兄の方、地域の方々、準備をして下さった砂野さん、一班・四班のみんな、厨房さんご苦勞様でした。

食堂営業中

もう今年も師走に入り、大忙しのこの頃ですが、そろそろ年末大掃除が近づいて来ました。広い厨房内を掃除するのはなかなか大変です。

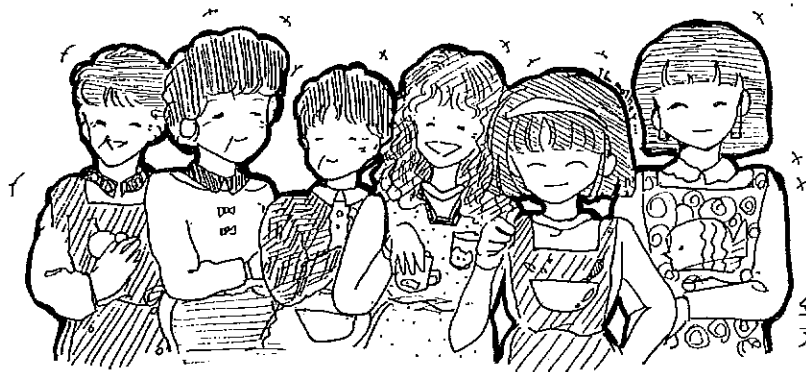
掃除といえば、宿直の時に汚れている場所をピカピカに掃除してくれる園長。

また、壊した栓のクサリも直してくれます。(壊すのはたいてい私です。)この汚れの原因となるハエを退治してくれるのは、ハエ取り名人の事務長。ハエを全滅してくれます。(ただし、夕食の片付けはしてくれませんが)

そして、困った時には砂野さん。棚や油捨て専用一輪車等“あつ”という間に作ってくれます。今年も、もう終わり。色々ありがとうございます。また、来年も手助けをよろしくお願いします。

厨房職員一同

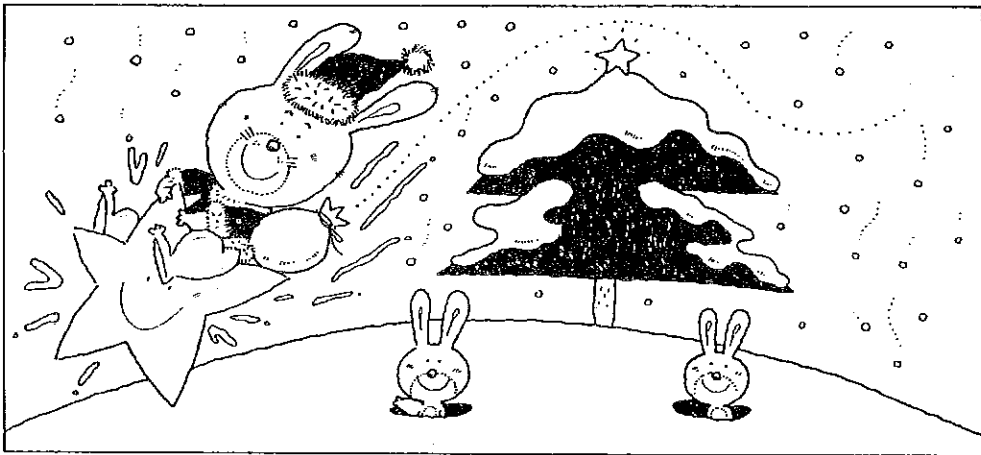
金丸



ぼらんていあ通信

去る11月23日に三角町の自然の里でポランティア学習会をしました。今回は奉仕作業という事で、参加者が集まらないのではと少し心配でしたが、顔なじみの方が6名、初めてのの方が1名と集まって下さり作業も大変はかどりました。ポランティアの皆さんの感想では、きつかったけど体を動かして気持ち良かったという意見が多かった様です。労を惜しまず皆さんが働かれ、自然の里の方より1年分の仕事をしてもらったと大変感謝して頂きました。昼食には、お母さん方の手作りの豚汁やカレーライスを御馳走になり、また力が湧いてくる感じでした。ポランティアの皆さん、大変お疲れ様でした。また、自然の里の方々、今年も学習会を受け入れて頂いてありがとうございました。

武藤



こうろぎ母さんの

栄養の話し

牛嶋妃佐美

先日、少々苦手な魚の煮付けを作りましたがふと思いついた事があります。三気の里に勤めていた頃の話ですが、「《落としぶた》って何だか分かる？」と言う園長の質問に、おもしろい事を言った女性がいたそうです。「煮物を作る時臭いがしない様にしよう」……落としぶたとは、煮汁が少なく、材料の上まで水がかぶらない時などに落としぶたをします。煮汁が上がって、落としぶたに当たり、また下に落ちてぐるぐる回るので、かき混ぜなくても少しの煮汁で良く煮えます。木の蓋が一番良いのですが、なければアルミ箔やセロハンを利用して下さい。これから、ブリの煮付けなんかおいしいですよ。煮汁を残さず作るのがコツですよ。



1 班 大掃除

師走、この言葉でピンとくるのは、年末ジャンボでは無くて、年末大掃除。ある日の1班の大掃除の風景をご紹介します。

1班の大掃除というといつも仕分けでお世話になる作業室1です。まずは、作業室に置いてあるカート、チェスト、イス、テーブルをみんなで運び出します。この時大活躍してくれるのが博君、聡ちゃん、はじめ君、かっちゃん、憲ちゃんの人組。一言かけるとホイホイのホイです。時々ぶつかったりするのもご愛嬌。その後長一いほうきで天井をゴシゴシすす払い。そして掃除機を片手に登場するのが忠ちゃん、久美ちゃんのおしゃべりコンビ。2人が掃除機をかけている間にみんなは雑巾を絞り、雑巾がけの始まりです。風のように走る(?) みんなの横で辰治さん、宣陽さんの熟年コンビは1F、2Fの階段を隅々まで奇麗にしてくれます。大掃除が終わると奇麗になった作業室を見てみんな満足そうです。また明日も頑張るZO!

伊石

2 班 ペンションでの忘年会

何かと忙しい年の暮れ、2班では、みかん山を開放して頂いたお陰で収入が増え、お父さんやお母さんを招いての忘年会を高森町のペンション・白水村の温泉でリッチに行う事になりました。

「さあ、御馳走を食べに行こう。」と、みんなニコニコして出掛けました。高森町は、雪がちらちら降っており、クリスマスを前にしてとても良い雰囲気でした。ペンションでは、コース料理に舌つづみを打ちましたが、あまりのおいしさに皿を管めている人。慣れないフォークとナイフに悪戦苦闘している人。お代わりが無いので水をお代わりしている人。それぞれに楽しんでいる様でした。その後、温泉につかって、ジュースを飲んで満足して三気の里に帰ってきました。福岡の伊佐治さん、みかん山を紹介して下さいありがとうございました。お父さん、お母さん参加ありがとうございました。

高橋

3班 海を見ながらの～んびり…

「バタバタ…」と足音が聞こえてきそうな12月。今年も残り少なくなりましたね。忙しい合間をぬって3班は、1年の疲れを癒そうと温泉へ行ってきました。

田之上指導員の「いつも山だから、海へ行こう！」の一言で松島温泉に決定。まずは、三角西港で海を見ながらお弁当を食べました。食後に近くをの～んびりと散歩して、個展が開かれていたホールでみかんを頂いて、思わぬプレゼントにみんなは大喜びでした。三角西港でのんびりした後は、いよいよ温泉ですが、温泉でもの～んびり…と思ったのは女性職員だけでした。だって、3班は12名全員男性なのです。男風呂の方では忙しそうな声が響いていましたが、女風呂では“こんなにゆっくりしていいのかな？”と思うほどでした。海の見える岩風呂に入って気持ち良かったのでしょうか、みんなとってもいい顔をしてあがってきました。「又、行きたい!!」と強～く思ったのは3班のみんなと女性職員だけだった様な気がします。

事務長、田之上指導員、お疲れ様でした。

今村



4班 野菜はいらんかね～

新メンバーを加え20名の大所帯の4班になって『頑張ろう!』と言っていたのがついこの間の様な感じさえますが、早いものでもう12月。この1年を振り返る師走になってしまいました。

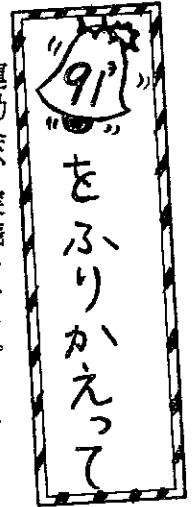
4班では外作業班と内作業班の2つに分かれ作業を行ってきましたが、その内容をお知らせしたいと思います。

まず外作業班は、主に菊陽町の小川農園さんの手伝いに朝からお弁当を持って出掛けました。桜や楓やイチョウ等など…。苗木が大きく成長する事をみんな楽しみにしています。小川農園さん、本年も大変お世話になりました。(この場をおかりしてお礼申し上げます)

内作業班も、主に農耕作業が中心で今年は『ナス、ウリ、キャベツ、唐芋、枝豆、椎茸etc…』の作物を栽培し大好評で、色々な方々に買って頂きました。どうもありがとうございました。

尚、4班では来年の野菜の予約も承っておりますので、どしどしお申し出下さいませ。

三池



運動会、実践キャンプとひとつづつクリアーして来ました。一度始めた事は着実に根をおろして行きたいと思えます。来年はもっと深く根をおろして行きたいと思えます。

園長 土井尚典

この原稿用紙をもらって、もうこんな季節なんだとしみじみ思い、一年なんて早いものだと実感させられました。来年は、今年以上においしい食事が作れる様に頑張りたいと思えます。

金丸綾子

今年4班のメンバーも新しくなり、外作業班も活動を始め、タンポポ市場も新しくなりました。新or初づくしの一年。肥料播きで運が付いたのか我家にも待望の二世崇史誕生！まだまだこれから：来年も頑張るぞ！

東 正実

“人間万事塞翁が馬”という言葉葉をこの所良く耳にします。辛い時、くじけそうな時にこの言葉思い出す様にしています。だから、私は何時も脳天気なのでしょうね。と思ってしまう今日この頃です。

坂本信子

今年三気の里に就職して、開園祭、夏祭り、宿泊キャンプに運動会と次々にやって来る行事に忙しさと楽しさを同時に体験出来た一年でした。来年もまた、ご指導の程よろしくお願いします。

三池真奈美

十二月より三気の里の一員になりました米村です。最近3班の間入りをして一緒に木工作業をやっています。来年の92を振り返ってでは楽しい事が沢山ありましたと報告出来ればいいなと思います。なにしろ始まったばかり：。

米村香津代

9月より、厨房のお手伝いをさせて頂いております。福祉、福祉と叫ばれている今日、三気の里で働けます事は、私自身にとりましてもすべて勉強です。少しでもお役に立てたらと思ひ毎日頑張っております。

中山清子

一年を振り返って天災の多い年だった。何といっても台風19号で我が家も損害を受け、大工職人のまね事も、日ごろの木工作業もなかなか役に立ちます。来年は作品から製品に脱皮するぞ！

田之上健一

今年最大のニュースは、4班へ移った事。最初は「日焼け：嫌だ」なんて思ったけど、大地を踏みしめ、陽の光を浴びて、ぐっと健康になりました。楽しい毎日です！

平川聖子





何事にも動せず、頑固にマイペースで歩いて来た私。研修等を通して沢山の人に出会い、話し、すてきな一年を送れた様に思います。来年はどんな事がやって来るのかな？

清田美加

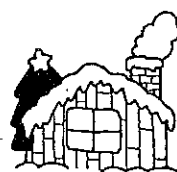
91年は、楽しくて、忙しくて、充実した幸せな一年でした。この一年で、どんな時も、どんな所でも頑張れる人になれた様な気がしています。(感違いじゃないと思うが...) 来年が楽しみ！田辺由美子

これといって発見や発展はなかった一年。のん気に構え過ぎて仕事をしてお陰で後のつけが大きかったが、今年も元気に明るく過ごせた様だ。来年に期待して、今年を終わろう。

多田麻紀

4月にここへ来てからあつという間に9ヶ月が過ぎてしまいましたが。何も分からず、ただ毎日を生懸命過ごしてきました。色々な方に迷惑をかけたばなしの一年でした。来年はもっとしっかり頑張りたいと思います。

高木道子



三気の里に出会った時、長女が2才でした。来春は小学校に入學します。子供が大きくなる分、私もしっかりしなければならぬと反省する年でした。“初心に戻って” 来年も頑張ろう！ 日置朋子

三気の里食堂にお世話になり早一年半になります。毎日毎日が楽しく過ごさせて頂き有り難く思っています。来年も頑張ります。よろしくお願ひします。岡田マサ子

この1年間は少しでも多くの人達と接する機会を持つと色々な面で地域の行事、学校の催し等に参加してみました。又、これからも私自身の視野を広げると共に知人を多く持つて行きたい。充実した忙しい1年でした。 砂野征三

今年、木工道具の使い方が少くし上手になって、ちよっぴり力持ちになった年でした。来年は、今年出来なかったことが出来る様になったらいいなあ。来年も頑張ろう。

今村由紀

今年、年頭へのん気、こん気元気を誓って、過ごして来たのですが... のん気、元気はクリアー出来たものの、相変わらず根気の無さが目立ちます。(英会話を習う事数カ月、ダイエットにとプールへ通う事数回) この根気の続かない限り肝心の「こん気」もまだまだ遠そうです。 山中美津代

91を振り返って、本当に結婚式の多い年でした。大の親友達のきれいな花嫁姿に羨望の眼差しを向け、マイナスになったカードを見つめ、みんなの幸せを願わずにはいられない今日この頃。私はいつになることか！

伊石美鈴

今年は、私生活で最良の年であった。仕事面でも3年が過ぎようやく周囲が見渡せる様になってきた様に思う。(年の割りにはかかりすぎかな。)しかし、これからもマイペースであせらずに一つ一つ着実に仕事をこなせていけたらと思う。

田辺剛政

今年は、私にとっては、班が2班から4班に変わり、初心者に戻った思いで、過ごした1年でした。余裕もあまり持てなかったのですが、来年は、心に余裕を持ち、充実した毎日をすごしたいなあと思っています。

橋本加代子

本当に一年のたつのは早いものです。新しい2班になり担当が変わって、お互いに一生懸命だったなーという感じです。大分での宿泊レクやペンションでの忘年会も楽しい思い出です。ありがとうございます。

高橋千草

今年もあつという間に過ぎ去ってしまった。研修に出してもらっていろんな経験をし、またいろんな人とも出会えた。来年は、得た事を糧にもっと頑張りたい。草木染めも良い作品を作れたらいいな。

武藤悦子



三気の里で働き始めて10ヶ月になります。あつという間でした。職員の人や調理職員の皆さん、御苦労様です。なかなか園生の名前も覚えません。年ばかりとって何一つ分からない私ですが今後ともよろしくお願い致します。

岡田スエ子

今年もあつと言う間の365日でした。湾岸戦争、損失補填、普賢岳の火砕流、梅雨の長雨、台風19号の被害等：世間的には色々ありましたが、今静かに暮れようとしてる1991年：三気の里に乾杯。

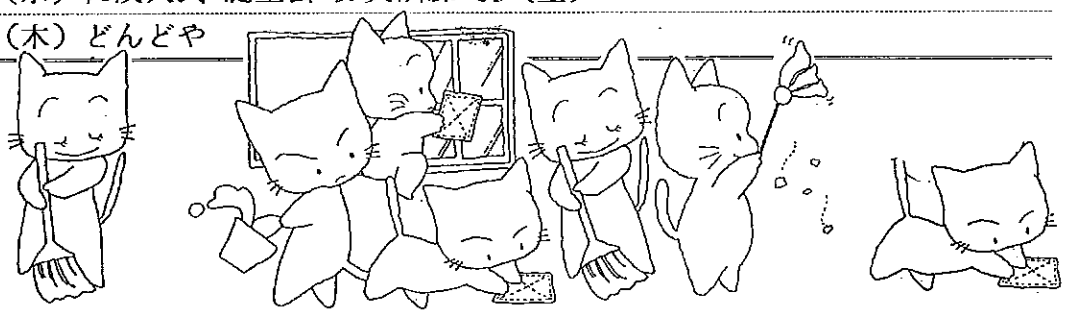
木下昭二

今年は、第2回自閉症療育セミナーと、第1回実践キャンプを開催できたこと。法人、施設では後援会、保護者会、各福祉事務所、社会福祉関係各位に、大変お世話になりました。来年も「のん気」「こん気」「げん気」を合言葉で頑張ります。

事務長 末永博美

1月の行事予定

1 (水) 回 冬季帰宅	17 (金)
2 (木)	18 (土) 父兄会 帰宅日 療育相談日
3 (金) 新年会	19 (日)
4 (土)	20 (月)
5 (日) 帰園日	21 (火)
6 (月)	22 (水)
7 (火)	23 (木)
8 (水)	24 (金) 大掃除
9 (木)	25 (土) 帰宅バス運行
10 (金)	26 (日)
11 (土)	27 (月)
12 (日)	28 (火)
13 (月)	29 (水)
14 (火)	30 (木)
15 (水) 回成人式 誕生会 防災訓練	31 (金)
16 (木) どんどこや	



今年も暮れます。5年前には、見おろして話をしていた可愛かったFくん、今では、私のほうが見上げるほど凛々しくなりました。時間の流れをまざまざと感じさせられます。

来年は、年男の私。座右には精進とでも刻みます。

坂井

…編集後記…

福岡の伊佐治さんのご紹介で、みかんの収穫をさせて頂いております。ご厚意を感謝致します。